北九州学術研究都市

学術研究施設のご案内

Kitakyushu Science and Research Park

公益財団法人 北九州産業学術推進機構

アジアの先端産業都市。
新たな技術と豊かな生活を創り出す。

北九州学術研究都市とは？

北九州学術研究都市は、「アジアに開かれた学術研究拠点」と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指し、理工系の国・公・私立大学や研究機関が同一のキャンパスに集積するという独自の試みとして、平成13年4月にオープンしました。現在、進出した大学が北九州学術研究都市の理念を共有して、先端的な科学技術、特に「環境技術」と「情報技術」を中心に活発な教育研究活動を展開しています。

北九州学術研究都市が目指すもの

大学等の『知』を活用した地域の産業・学術の振興

- アジアに開かれた学術研究拠点
- 新たな産業の創出・技術の高度化

新たな技術と豊かな生活を創り出す
アジアの先端産業都市の実現
（北九州市新成長戦略の目標）

建物配置図

＊①産学連携センター(1号館)……3～4頁
＊②共同研究開発センター(2号館)……5～6頁
＊③情報技術高度化センター(3号館)……7～8頁
＊④事業化支援センター(4号館)……9～10頁
＊⑤技術開発交流センター(5号館)……11～12頁
＊⑥学術情報センター……13～16頁
＊⑦体育館……16頁
＊⑧運動場、テニスコート……16頁
＊⑨会議場……17～18頁
⑩環境エネルギーセンター
⑪北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科
⑫北九州市立大学特殊実験棟
⑬北九州市立大学計測・分析センター
⑭北九州市立大学環境技術研究所
⑮北九州市立大学ひびきの教員宿舎
⑯北九州市立大学留学生会館
⑰九州工業大学大学院生命体工学研究科
⑱早稲田大学大学院情報生産システム研究科
⑲早稲田大学情報生産システム研究センター
⑳早稲田大学北九州宿舎
㉑留学生宿舎

＊印は、学術研究施設(共同利用施設)

☎ 問い合わせ先

①～⑩	(公財)北九州産業学術推進機構	TEL093-695-3111
⑪～⑯	北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科	TEL093-695-3310
⑰	九州工業大学大学院生命体工学研究科	TEL093-695-6000
⑱	早稲田大学大学院情報生産システム研究科	TEL093-692-5017
⑲⑳	早稲田大学情報生産システム研究センター	TEL093-616-0673

＜研究室については下記へお問い合わせください＞

北九州市産業経済局産業イノベーション推進室　TEL093-695-3035

建物配置図

産学連携センター（産学連携センター1号館）

産・学が手を組んで研究をすすめる中核施設です。

学術研究都市の運営を行う組織や産学連携を進めるためのインキュベート施設（貸しオフィス、研究室、会議室）が入居する施設です。
また、少人数から80人程度まで対応できる会議室や研修室などを提供しています。

【住所】若松区ひびきの2番1号　　【延床面積】5,844.86㎡

研修風景

研究室 面積：50.94㎡/部屋 等

最先端の研究を行う企業等が、産学連携をしながら研究開発等を行うスペース。

（1）使用期間：原則は1年以内（更新可能）
（2）使用時間：24時間
（3）使 用 料：2,000円/㎡・月
　（営利を主たる目的としない使用の場合は半額）
（4）共 益 費：500円/㎡・月
（5）光熱水費：電気、空調等の使用に係る実費相当分

※ベンチャー企業を対象とした使用料減免制度があります。
詳しくはお問い合わせ下さい。

フロア案内

リフレッシュコーナー

特別応接室

北九州学術研究都市展示ルーム

研修室・会議室

ニーズに応じて様々な形態の会議・プレゼンテーションなどに対応できます。隣接する会議場も利用することで大規模なコンベンションが可能です。

また、研修室では間仕切りによる分割使用も可能です。

さらに応接室・特別会議室も備え、落ち着いた格調高い会議を演出します。

※一部利用不可

研修室

特別会議室

区分	面積	収容人員	1時間ごと	終日（午前9時～午後10時）
研修室	141.96㎡	99人	4,200円	43,050円

区分	面積	収容人員	1時間ごと	終日（午前9時～午後10時）
中会議室1・2	99.71㎡等	①72人 ②36人	2,850円	30,300円
小会議室1・2	46.60㎡等	①24人 ②18人	1,200円	12,750円
特別会議室	99.71㎡	24人	3,450円	36,300円
応接室	46.60㎡	12人	1,650円	16,800円

※公共団体や大学等の営利を主たる目的としない使用の場合は半額
※会議室・研修室等の使用時間：午前9時～午後10時

建物配置図

共同研究開発センター（産学連携センター2号館）

半導体微細加工技術の研究開発を支援する施設です。

半導体製造工程の研究開発、試作試験・検査のための設備と大学、企業等の共同研究のための研究開発室を備えた施設です。

【住所】若松区ひびきの1番5号　　【延床面積】1,062.21㎡

フロア案内

研究室　面積：42.21㎡/部屋

企業や大学の研究者が半導体の研究開発等を行うためのスペースです。

(1)使用期間：原則は1年以内（更新可能）
(2)使用時間：24時間
(3)使 用 料：2,000円/㎡・月
（営利を主たる目的としない使用の場合は半額）
(4)共 益 費：500円/㎡・月
(5)光熱水費：電気、空調等の使用に係る実費相当分

※ベンチャー企業を対象とした使用料減免制度があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

区分	1時間ごと
ケミカルプロセス室	11,400円
マイクロプロセス室	5,250円
イエロールーム	5,250円
レイアウト設計室	5,250円
組立・測定室	5,250円

※公共団体や大学等の営利を主たる目的としない使用の場合は半額

ケミカルプロセス室（クリーンルーム）

ケミカルプロセス室

プラズマCVD装置

ICの試作が可能です。工程別では、シランを使った成膜（Poly-Si、SiO_2、Si_3N_4）が可能。また酸及び有機用のドラフトチャンバーを備え、様々なウエット処理ができます。

イオン注入装置

〈機器・設備〉
イオン注入機、酸化・拡散炉、スパッタ、ドライエッチャー、プラズマCVD、LP-CVD　など

イエロールーム（クリーンルーム）

ステッパー

電子ビーム描画装置

コーター／ディベロッパー

紫外線、電子ビームを使ったフォトリソグラフィを行います。ステッパーによるマスクパターン転写の他、電子ビーム描画装置による直接描画も可能です。電子ビーム描画装置を用いて、精度の良いマスク作製が可能です。干渉縞を応用した膜厚測定器により、Poly-Si、SiO_2、Si_3N_4、レジスト等の膜厚を測定することができます。

組立・測定室

半導体デバイスアナライザ

走査型電子顕微鏡（元素分析機能付き）

作製したデバイスの電気特性を評価するスペースです。半導体デバイスアナライザにより、トランジスタの各種電気特性を測定できます。マニュアルプローバーによりウェハ、チップレベルで直接針を当てて測定できます。また、電子顕微鏡により微細パターン観察ができます。

マニュアルワイヤーボンダーによりセラミックパッケージへのワイヤリングも可能です。

レイアウト設計室

レイアウトCAD

フォトマスクのレイアウト設計をCADを使って行います。ここで作成したデータを、電子ビーム描画装置にネットワーク経由で転送し、マスクを作製します。

マイクロプロセス室

銅メッキした基板に配線パターンを彫り込むことで、オリジナルなプリント基板を作製することができます。

また、半田付け加工、各種工作、評価等、多目的に使えるスペースです。

プリント基板作製装置

〈機器・設備〉
プリント基板作製装置、作業台、工具、半田槽、測定器（電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ等）

建物配置図

情報技術高度化センター（産学連携センター3号館）

ネットワークや半導体設計に関する研究開発、
人材育成を行う共同研究開発施設です。

大学、企業等の共同研究のための研究開発室などを備えた施設です。

【住所】若松区ひびきの2番5号　　【延床面積】5,118.07㎡

研究室 面積：51.97㎡/部屋 等

情報通信技術の高度化を目指す大学・企業・研究機関が研究開発を行うスペースです。

(1)使用期間：原則は1年以内（更新可能）
(2)使用時間：24時間
(3)使 用 料：2,000円/㎡・月
（営利を主たる目的としない使用の場合は半額）
(4)共 益 費：500円/㎡・月
(5)光熱水費：電気、空調等の使用に係る実費相当分

※ベンチャー企業を対象とした使用料減免制度があります。
詳しくはお問い合わせ下さい。

設計開発室

ベンチャー企業等がシステムの設計開発を行うスペースです。

設計研修室

企業技術者等を対象として、システムの設計技術の実戦的な教育・再教育などを行うためのスペースです。

評価研修室

システムLSIや基板を信号発生器や測定器を使って評価する方法を研修・指導するスペースです。

フロア案内

情報技術研修室

短期的（数時間～1か月程度）な研修を行うスペースです。

会議室・応接室

情報通信関連の技術者育成を図るため研修を行ったり、研究者の会議を行ったりするスペースです。

区　分	面　積	収容人員	使用料※	
			1時間ごと	終日（午前9時～午後10時）
設計研修室	157.28㎡	19人	4,800円	49,200円
評価研修室	102.35㎡	17人	3,150円	31,950円
設計開発室1～3	24.40㎡	―	150円	1,200円
情報技術研修室	128.32㎡	30人	3,750円	39,750円
応接室	25.98㎡	4人	750円	8,100円

※公共団体や大学等の営利を主たる目的としない使用の場合は半額

建物配置図

事業化支援センター（産学連携センター4号館）

大学発ベンチャー企業等の研究開発や事業化を支援する施設です。

研究者や大学発ベンチャーの起業を支援するため、さまざまな分野に対応する研究実験室を備えた施設です。

【住所】若松区ひびきの1番8号　　【延床面積】3,229.19㎡

研究室・共同研究室 面積：47.21㎡/部屋 等

研究者や学生等の起業志向者が研究開発等を行うスペースです。機械系、事務系、化学系の研究開発に対応した研究室を備えています。また、共同研究室は、ベンチャー企業等が共同利用するオフィス空間になっており、小規模ブース単位（5.00㎡）で利用することができます。

（1）使用期間：原則は1年以内（更新可能※1）
（2）使用時間：24時間
（3）使用料※2：2,000円/㎡・月（研究室）
1,000円/㎡・月（共同研究室）
（営利を主たる目的としない使用の場合は半額）
（4）共 益 費：500円/㎡・月
（5）光熱水費：電気、水道、空調等の使用に係る実費相当分

研究室（化学系）

共同研究室

※1　共同研究室に入居のベンチャー企業については更新回数の制限あり。
※2　ベンチャー企業を対象とした使用料減免制度があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

フロア案内

事務系フロア

3F

化学系フロア

5F

事務系フロア

2F

事務系フロア

4F

機械系フロア

1F

ミーティングスペース

シェアオフィス

会議室

研究者間の共同研究や研究開発成果の発表の場等として活用するスペースです。

小会議室

	面　積	収容人員	1時間ごと	終日 (午前9時～午後10時)
中会議室	94.27㎡	48人	2,850円	29,400円
小会議室	45.76㎡	18人	1,350円	14,250円

※公共団体や大学等の営利を主たる目的としない使用の場合は半額

技術開発交流センター（産学連携センター5号館）

カーエレクトロニクス、ロボット分野などの新たな技術開発を
支援する施設です。

カーエレクトロニクスやロボット分野等、産学連携による新たな技術開発プロジェクトに対応する施設です。
また、学術研究都市内外の研究者等の交流を促進する交流室の他、宿泊室も備えています。

【住所】若松区ひびきの北8番1号　　【延床面積】5,497.78㎡

研究室 面積：47.61㎡/部屋 等

企業や大学の研究者がカーエレクトロニクス等の研究開発を行うスペースです。
また、化学系の実験にも対応可能な研究室や大型研究室も備えています。

(1)使用期間：原則は1年以内（更新可能）
(2)使用時間：24時間
(3)使 用 料：2,000円/㎡・月
（営利を主たる目的としない使用の場合は半額）
(4)共 益 費：500円/㎡・月
(5)光熱水費：電気、水道、空調等の使用に係る実費相当分
※ベンチャー企業を対象とした使用料減免制度があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

研究室（情報系）

研究室（化学系）

交流室

学術研究都市内外の教員、研究者等との
交流を促進するスペースです。

交流室A（160㎡）

交流室B（145㎡）

フロア案内

会議室

研究開発成果の発表や各種会議の場等として活用するスペースです。

	面　積	収容人員	1時間ごと	終日（午前9時～午後10時）
中会議室	93.13㎡	48人	2,850円	29,100円
小会議室	48.67㎡	24人	1,500円	15,150円

※公共団体や大学等の営利を主たる目的としない使用の場合は半額

中会議室

宿泊室

学術研究都市に学術研究目的で来訪される方の宿泊スペースです。

ツイン

シングル

	宿泊人数	6泊目まで	7泊以上の場合
1人用（シングル：8室）	1人	1泊4,500円／室	6泊目まで：1泊4,500円／室 7泊目以降：1泊3,750円／室
2人用（ツイン：1室）	2人	1泊9,000円／室	6泊目まで：1泊9,000円／室 7泊目以降：1泊7,500円／室
	1人	1泊6,750円／室	6泊目まで：1泊6,750円／室 7泊目以降：1泊6,000円／室

学術情報センター

詳しくは http://media-lib.hibikino.ne.jp/ まで

情報を集積・発信するマルチメディアステーションです。

○学術情報センターは、外部との連携による遠隔講義、学生や市民を対象とした情報処理教育及び北九州学術研究都市のネットワーク管理機能を併せ持つ施設です。

○図書室は、理工学分野に特化した専門的な図書室と市民が自由に利用できる一般図書室の両方の機能を持つ、情報通信技術を取り入れた施設です。

【住所】若松区ひびきの1番3号　　【延床面積】7,250.55㎡

プロジェクト室

1か月から3か月程度の期間、継続して図書室の資料やスタジオ、コンテンツ制作室等の学術情報センター内の施設を利用しながら、研究開発等を行う方のスペースです。

(1)使用期間：原則は1か月～3か月（更新可能）
(2)使用時間：24時間
(3)使 用 料：2,000円/㎡・月
（営利を主たる目的としない使用の場合は半額）
(4)共 益 費：500円/㎡・月
(5)光熱水費：電気、空調、通信の使用に係る実費相当分

1　使用期間が1月に満たない場合の使用料は、1月として計算する。
ただし、使用を開始した月の使用料は、日割計算とする。
2　営利を主たる目的としない使用に係る使用料の額は、規定使用料の額の5割に相当する額とする。

フロア案内

コンテンツ制作室

動画・音声編集設備により、動画像・静止画・音声・テキストの入力、加工、編集など、マルチメディアコンテンツを制作することができます。

※公共団体や大学等の営利を主たる目的としない使用の場合は半額

区　　分	1時間ごと
動画・音声編集装置	1,500円
コンピュータ グラフィックス制作装置	1,500円
コンテンツ制作装置	750円

※24時間の使用が可能

スタジオ

スタジオ、調整室、アナウンスブースでは、撮影、ナレーション収録、デジタルオーディオ編集加工などの各種映像音声番組の制作ができます。

また、ネットワークを利用したライブ中継が可能で、学術研究都市内外へ向けて情報を配信することができます。

区　　分	1時間ごと	終日(午前9時～午後10時)
スタジオ	6,300円	65,550円
アナウンスブース	300円	3,150円
調整室	8,250円	85,800円

※公共団体や大学等の営利を主たる目的としない使用の場合は半額
※午後10時～翌日の午前9時の使用料は、終日料金の12割に相当する額
※24時間の使用が可能

1　22時から翌日の9時までの使用料の額は、終日に係る規定使用料の額の12割に相当する額とする。

2　営利を主たる目的としない使用に係る使用料の額は、規定使用料の額の5割に相当する額とする。

図書室

理工学分野をメインとした「専門図書室」と児童書や絵本、一般向けの実用書、小説など幅広く取り揃えた「一般図書室」があります。子供向けのおたのしみ会やDVD上映会などのイベントも行っています。

＊規模
座席数：331席
蔵書能力：26万冊（平成31年3月現在蔵書数：約16万冊）

＊主要設備
（共通）情報検索端末、AV機器、インターネット端末
（専門）入館ゲートシステム、自動貸出機

専門図書室

●2階には、学術雑誌、参考図書などを備えています。
●AVブースではビデオ、DVDなど館内のAV資料を視聴できます。
●情報検索コーナーでは、館内の図書などの所蔵を確認できるほか、インターネットで各種情報を入手することができます。
●3階には、学習・研究に必要な理工系の専門図書などを備えています。
●グループ学習室（2部屋）では、図書室資料を使ってグループ研究をすることができます。
●図書室内では、各自が所有しているノートパソコンやスマートフォンをキャンパスネットワークに接続できるWi-Fiも完備しています。
＊利用時間及び貸出時間：午前9時～午後8時

一般図書室

一般図書室は、広く市民も利用できるように、一般向けの図書、雑誌などを備えています。また、子どもから大人まで楽しめるビデオ、DVDを視聴することができます。図書、雑誌の貸出には、図書カードが必要です。図書カードは、北九州市内の図書館で共通に使えます。

また、市内及び県内の図書館からも図書の取り寄せができます。

＊利用時間：午前9時～午後8時
＊貸出時間：火曜～金曜日　午前9時30分～午後7時
：土曜、日曜日、休日　午前9時30分～午後6時

講義室

講義室1、2にPCが配置してあり、情報リテラシー教育やCAD教育に適しています。

区　　分	収容人員	1時間ごと	終日(午前9時～午後10時)
講義室1～3	講義室1・3:各61人 講 義 室 2:71人	5,250円	54,600円
遠隔講義室1	203人	7,350円	76,500円
遠隔講義室2	28人	2,400円	25,050円

※公共団体や大学等の営利を主たる目的としない使用の場合は半額

遠隔講義室

通常の講義、会議、講演に加え、学術研究都市内の各施設や、物理的に離れた学術研究都市外の施設を結んで、臨場感あふれる遠隔会議、講義を行うことができます。

遠隔講義室1では、全席情報コンセントが利用できます。

遠隔講義室1

遠隔講義室2

遠 隔 会 議

学術研究都市内の各施設において、可搬型TV会議システムを利用し、同種の機器とネットワーク環境を備えた外部施設との間で遠隔会議を行うことが可能です。

建物配置図

体育施設

大学の授業で使用するほか、学生や教員、研究者などが交流を深め、健康の維持や増進を図ることができるスポーツ施設です。一般の方も利用可能です。(一部利用不可)

体育館

体育館(アリーナ):1,475.17㎡

テニスコート(4面)

運動場:400mトラック6コース

会議場

研究発表や産学官交流の場にふさわしいホールです。

460席を有するメインホールは、映像設備や、同時通訳設備などを備えており、地域の大学や産業界との交流の場として、また、研究成果の発表の場として、学会や講演会を開催することができます。併設のイベントホールは、100人程度までの多彩なイベントに対応できます。

【住所】若松区ひびきの2番3号　　【延床面積】2,288.44㎡

メインホール（客席460席）

各種映像機器と高輝度プロジェクターを装備し、ライブ、ビデオやDVD、スライドやOHP、パソコンなどさまざまな映像ソースを常設の大型スクリーン（2面）に映写します。

場　所	面　積	収容人員	使　用　料					
使　用　時　間			午　前	午　後	夜　間	午前・午後	午後・夜間	終　日
メインホール	532.63㎡	460人	41,250円	55,050円	66,000円	88,050円	107,850円	151,800円
イベントホール	288.88㎡	100人	25,950円	34,650円	41,550円	55,500円	67,950円	95,700円
控室1	18.49㎡	4人	1,500円	1,500円	1,500円	3,000円	3,000円	4,500円
控室2	19.53㎡	6人						
控室3	16.65㎡	4人						

※使用時間区分
午前：9時～12時　午後：13時～17時　夜間：18時～22時　午前・午後：9時～17時　午後・夜間：13時～22時　終日：9時～22時
※控室は2室目からの1室あたりの料金　※仕込み、リハーサルのための使用は半額
※公共団体や大学等の営利を主たる目的としない使用の場合は半額

フロア案内

調整室

イベントを行う際の機器操作を行う専任のオペレーターを配置しています。

同時通訳設備

赤外線方式の無線受信機を使用し、3か国語までの同時通訳が可能です。

イベントホール（立食パーティで約100人）

パーティ・展示会・ポスターセッションなどにご利用できます。

　また、テレビモニターでメインホールの様子を見ることも可能なので、サブ会場としてもご利用できます。

建物配置図

利便施設

学術研究都市の中心には市民も利用できる商業利便施設を配置しています。

- レストラン
- カフェテリア
- 売店・書店
- 美容室
- クリーニング取扱店
- ATM
- 歯科医院
- FMラジオ局
- 学習塾
- 喫茶店

ACCESS

【公共交通機関の場合】

JR折尾駅→折尾駅西口バス停→市営バス→学研都市ひびきのバス停(※所要時間15分)
北九州空港→北九州空港バス停→西鉄バス→学研都市ひびきのバス停(※所要時間80分)

【車をご利用の場合】

北九州都市高速道路　黒崎出入口(黒崎・折尾出口下車　折尾方面へ)→学術研究都市
(※北九州都市高速道路　黒崎出入口からの所要時間20分)

Kitakyushu Foundation for the Advancement of Industry, Science and Technology
FAIS

■問い合わせ先

公益財団法人 北九州産業学術推進機構
総務企画部
〒808-0135　北九州市若松区ひびきの2番1号・産学連携センター1階
Tel.093-695-3111　Fax.093-695-3010
E-mail: info@ksrp.or.jp

URL: https://www.ksrp.or.jp/fais

2019.10